

「全国学力・学習状況調査」結果について

4月に6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その調査結果が千曲市報（11月号）で公表されました。本校でも調査結果を分析し、成果と課題を明らかにして、これからの学習指導に役立てていきます。今後さらに学力向上の取り組みを進めるために、家庭との連携は欠かせません。成果と課題を保護者の皆様と共有していかれるよう、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

(1)教科に関する調査結果の概要（平均正答率と考察）

調査内容	学 習 指 導 要 領 の 領 域
国語 A 知識に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は相当数の児童ができています。 ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は多くの児童ができていますが課題があります。
国語 B 活用に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「話すこと・聞くこと」「読むこと」は多くの児童ができていますが課題があります。 ②「書くこと」は50%を上回っていますが課題があります。
算数 A 知識に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「数と計算」「図形」は相当数の児童ができています。 ②「量と測定」「数量関係」は多くの児童ができていますが課題があります。
算数 B 活用に関する問題	○全国・長野県の平均を上回りました。 ①「量と測定」「数量関係」は50%を上回っていますが課題があります。 ②「数と計算」は50%を下回り課題があります。 ③「図形」は40%を下回り課題があります。

【国語】

- ① 漢字の読み書きはよくできていましたが、「省く」を読むことができていない割合は県・全国平均を下回っていました。また、ローマ字を読んだり書いたりすることは、県・全国平均を上回ってはいますが、課題はあります。訓読みの漢字練習やローマ字の読み書きに力を入れていくことが必要と思われます。
- ② 報告文での課題を取り上げた効果の理解が、県・全国平均を下回っています。目的や意図に応じて構成を考えて書く学習を進めたいと思います。
- ③ 平均より正答の割合は高かったのですが、「書くこと」で、題意を的確にとらえたり図から読み取れることをまとめて書き表すことに課題があります。条件に合わせて書くことの学習も普段からできるようにしたいと思います。

【算数】

- ① 示された式の中の数値の意味を、他の数値や演算と関連づけて解釈し、それを言葉や数を用いて記述することができていませんでした。立式するだけでなくその式の数値がど

これから導き出されたものか考える場面を適宜とっていくようにしたいと思います。

- ② 示された除法の式の意味を、並べてできた形と関連づけ、角の大きさを基に説明を記述することができていませんでした。除法は被除数が除数のいくつ分かを計算しているということの説明が不十分でした。除法だけでなく、四則演算の意味理解をていねいに進めていきたいと思います。
- ③ 図形の構成要素に着目して、論理的に考察することができていませんでした。図形の特徴や角についての知識などを基に図形が構成できる理由を考え合う場面をとっていくようにしたいと思います。

(2) 生活習慣や学習習慣に関する調査結果の概要 () は H27 年度

	質 問	「はい」の割合(%)	全国・県との比較
生活習慣・余暇利用	朝食を毎日食べていますか	97.3 (98.6)	全国・県とも上回る
	平日に2時間以上テレビゲームをしていますか	16.2 (23.5) 3時間以上 8.1	全国・県とも下回る
	平日に2時間以上テレビやビデオ DVD を見えていますか	44.6 (57.8) 3時間以上 20.3	全国・県とも下回る
	平日に30分以上読書をしていますか	31.1 (31.3)	全国・県とも下回る
	地域の行事に参加していますか	55.4 (60.9)	全国上回る。県下回る
学習習慣	学校の宿題をしていますか	91.9 (92.2)	全国・県とも上回る
	平日に1時間以上家庭学習をしていますか	85.2 (64.3)	全国・県とも上回る
	学校の授業の復習をしていますか	55.4 (43.7)	全国・県とも上回る

□成果と課題

- ① 生活の基本（朝食を摂る、決まった時刻に就寝・起床する）は、しっかりと定着しています。家庭でのご指導、ありがとうございます。
- ② テレビゲームやテレビ等を見る時間も、全国・県平均より下回っています。①と同様に、規則正しい家庭生活を過ごせている児童が多くいます。ただし、個人差が大きいことと、全体的に読書時間が少ないことが心配です。ノーゲームデー等の取り組みをしたり、子どもと話す時間や読書の時間を多くしたりするようにお願いします。
- ③ 家庭学習の取り組みは、時間・内容ともに良い結果となっています。学年で重点的に取り組んでいる『自主学習』も、ほとんどの子どもが定着しており、内容も充実してきている子どもが多く見られます。ただし、個人差が大きいので、家庭学習の目安である「学年×10分+10分」は、毎日するように家庭でもご指導ください。

□今後の対応について

国語では、毎日のスキル学習の取り組みや必要な条件に合わせて読む学習を進めてきた成果が表れています。今後自分の考えを相手にわかりやすく伝えるためにねらいに沿った話し合い活動を取り入れ、「伝え合い響き合い学び合う授業」を推進していきます。

算数では「伝え合い、響き合い、学び合い、友だちの名前がたくさん出てくる授業作り」の成果が表れています。今後さらに、数値や式の意味、図形の構成要素に着目して、論理的に説明する力を伸ばしていきたいと思います。

今後ともご家庭と連携を図りながら、家庭学習の指導やノーテレビ・ノーゲームデーなどに取り組んでいきたいと想います。